

平成24年度決算概要



1. 全会計について

平成24年度の益子町の全会計（一般会計及び五つの特別会計）の歳入総額は14,590,537,049円、歳出総額は13,889,121,712円で、歳入歳出差引額は701,415,337円となっており、平成23年度決算額と比較しますと、歳入において1,470,731,450円（11.2%）、歳出では1,550,060,566円（12.6%）の増額となっております。

単位:円、%

会計名		平成24年度決算額	平成23年度決算額	増減額	増減率
一般会計	歳入	9,533,817,629	8,377,816,402	1,156,001,227	13.8
	歳出	8,943,269,690	7,667,737,907	1,275,531,783	16.6
	差引額	590,547,939	710,078,495	△119,530,556	△16.8
国民健康保険特別会計	歳入	2,876,584,332	2,829,314,171	47,270,161	1.7
	歳出	2,824,459,538	2,780,968,555	43,490,983	1.6
	差引額	52,124,794	48,345,616	3,779,178	7.8
後期高齢者医療特別会計	歳入	165,233,034	146,268,481	18,964,553	13.0
	歳出	164,415,249	145,160,471	19,254,778	13.3
	差引額	817,785	1,108,010	△290,225	△26.2
介護保険特別会計	歳入	1,472,617,391	1,310,710,643	161,906,748	12.4
	歳出	1,427,263,568	1,301,382,203	125,881,365	9.7
	差引額	45,353,823	9,328,440	36,025,383	386.2
公共下水道事業特別会計	歳入	390,936,355	352,338,689	38,597,666	11.0
	歳出	381,783,099	343,679,903	38,103,196	11.1
	差引額	9,153,256	8,658,786	494,470	5.7
農業集落排水事業特別会計	歳入	151,348,308	103,357,213	47,991,095	46.4
	歳出	147,930,568	100,132,107	47,798,461	47.7
	差引額	3,417,740	3,225,106	192,634	6.0
合計	歳入	14,590,537,049	13,119,805,599	1,470,731,450	11.2
	歳出	13,889,121,712	12,339,061,146	1,550,060,566	12.6
	差引額	701,415,337	780,744,453	△79,329,116	△10.2

*平成24年度決算書は、役場・中央公民館・改善センター・あぐり館に備えてありますのでご参照ください。

2. 一般会計決算概要

平成24年度の一般会計の歳入総額は9,533,818千円、歳出総額8,943,270千円で、歳入歳出差引額(形式収支)は590,548千円となりました。

形式収支から翌年度に繰り越すべき財源67,291千円を控除した実質収支は523,257千円の黒字となっており、このうち270,000千円を財政調整基金に積み立てし、残額は平成25年度への繰越金としております。

また、単年度収支については、前年度の実質収支額(360,294千円)を上回ったことにより162,963千円の黒字となり、実質単年度収支についても、積立金の取崩しがなかったため163,319千円の黒字となっております。

財政状態を示す財政指標のうち経常収支比率は83.1%と前年度から4.7ポイント好転しました。これは、昨年度に比べ人件費や公債費に係る経費の減少によるものであります。実質公債費比率についても、11.9%で前年度の12.8%から0.9ポイント好転しました。

平成24年度末の地方債の残高は、7,053,206千円で前年度末より702,623千円増加しました。これは、益子小学校の改築事業に伴う地方債の発行や、地方交付税の代替措置である臨時財政対策債の発行によるものです。特に、臨時財政対策債は、その償還額について後年度における財政措置があるものの、総起債残高の約5割を占めている状況です。

一方、財政調整基金残高は、前年度から200,356千円増加の979,960千円となりました。これは、平成23年度決算剰余金による積立(200,000千円)によるものと、歳出削減や国県補助金等の特定財源の確保により基金を取り崩さずに済んだためです。

歳入のうち、自主財源は3,416,318千円(自主財源比率は35.8%)で、前年度と比較しますと額で37,132千円の減、率では5.4ポイントの減となっております。また、依存財源は6,117,500千円(比率は64.2%)で、前年度対比で1,193,134千円の増、率では5.4ポイントの増となっております。自主財源においては、評価替えに伴い町税が減少し、依存財源においては町債(前年度比808,808千円増)、国庫支出金(前年度比204,520千円増)、地方交付税(前年度比124,445千円増)及び県支出金(前年度比78,336千円増)等が増加しています。

歳出のうち消費的経費は6,548,580千円で、前年度対比47,995千円(0.7%)の減となりました。内訳としては、人件費、公債費、繰出金、及び積立金が減少し、補助費等、扶助費、物件費、投資・出資・貸付金、及び維持補修費が増となっております。投資的経費は2,394,690千円で、前年度対比1,323,527千円(123.6%)の増となっております。これは、益子小学校校舎や七井小学校屋



内運動場の改築事業等によるものです。

平成24年度の主な事業

● 障害者扶助	421,510 千円
● 老人扶助	28,542 千円
● 民間保育所入所運営	452,605 千円
● 児童（子ども）手当	407,585 千円
● こども医療費助成事業	58,633 千円
● 芳賀広域ごみ処理施設整備費負担金	256,437 千円
● 芳賀台地土地改良事業負担金	58,171 千円
● 経営体育成基盤整備事業	70,250 千円
● 道路改良・舗装・修繕工事	183,750 千円
● 消防・防災施設整備	37,580 千円
● 幼稚園育成事業	30,533 千円
● 小学校校舎等改築事業	1,548,435 千円



平成24年度一般会計歳入歳出決算

(単位:千円、%)

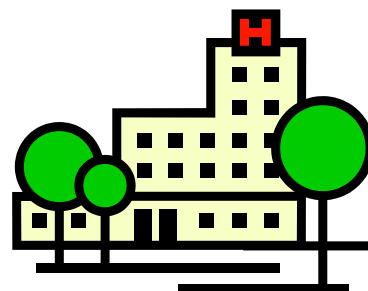
歳 入			歳 出		
区 分	金 額	構成比	区 分	金 額	構成比
○ 自主財源	3,416,318	35.8	○ 消費的経費	6,548,580	73.2
町 税	2,350,958	24.7	人 件 費	1,235,755	13.8
分担金及び負担金	122,723	1.3	物 件 費	732,629	8.2
使用料及び手数料	53,274	0.6	維持補修費	40,358	0.5
財 産 収 入	4,507	0.0	扶 助 費	1,527,629	17.1
寄 附 金	1,237	0.0	補 助 費 等	1,497,768	16.7
繰 入 金	555,247	5.8	公 債 費	727,459	8.1
繰 越 金	230,299	2.4	積 立 金	1,845	0.0
諸 収 入	98,073	1.0	投資・出資金及び貸付金	43,000	0.5
○ 依存財源	6,117,500	64.2	繰 出 金	742,137	8.3
地方譲与税	94,711	1.0	○ 投資的経費	2,394,690	26.8
利子割交付金	5,204	0.1	普通建設事業費	2,386,807	26.7
配当割交付金	4,571	0.0	災害復旧事業費	7,883	0.1
株式等譲渡所得割交付金	1,324	0.0	失業対策事業費	0	0.0
地方消費税交付金	196,929	2.1			
ゴルフ場利用税交付金	62,972	0.7			
自動車取得税交付金	32,685	0.3			
地方特例交付金	10,672	0.1			
地方交付税	2,305,701	24.2			
交通安全対策特別交付金	2,445	0.0			
国庫支出金	1,149,031	12.1			
県支出金	807,158	8.5			
町 債	1,444,097	15.1			
歳入合計	9,533,818	100.0	歳出合計	8,943,270	100.0



3. 国民健康保険特別会計決算概要

平成24年度の国民健康保険特別会計の歳入総額は2,876,584千円、歳出総額は2,824,459千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は52,125千円となりました。このうち27,000千円を財政調整基金に積立し、残額は平成25年度への繰越金としています。前年度と比較しますと歳入は47,270千円（1.7%）、歳出は43,491千円（1.6%）とそれぞれ増額となっています。歳入では、療養給付費等交付金や前期高齢者交付金、県支出金等が増加し、歳出では、後期高齢者支援金や介護納付金等が増加しています。

なお、保険料の収納率は67.8%で前年度から1.6ポイント増加しました。



4. 後期高齢者医療特別会計決算概要

平成24年度の後期高齢者医療特別会計の歳入総額は165,233千円、歳出総額は164,415千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は818千円となりました。歳入の主なものは、後期高齢者医療保険料113,866千円で歳入の68.9%、一般会計からの繰入金50,056千円で歳入の30.3%を占めています。歳出では、後期高齢者医療広域連合への納付金が161,200千円で歳出の98.0%を占めています。

なお、保険料の収納率は99.5%でした。



5. 介護保険特別会計

平成24年度の介護保険特別会計の歳入総額は1,472,617千円、歳出総額は1,427,263千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は45,354千円となりました。前年度と比較しますと歳入は161,907千円（12.4%）、歳出は125,881千円（9.7%）とそれぞれ増額となっております。歳入では介護保険料が80,398千円、国県支出金が50,618千円増加し、歳出では保険給付費が95,543千円増加しています。

なお、保険料の収納率は97.6%でした。



6. 公共下水道事業特別会計

平成24年度の公共下水道事業特別会計の歳入総額は390,936千円、歳出総額は381,783千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は9,153千円となりました。前年度と比較しますと歳入は38,597千円（11.0%）、歳出は38,103千円（11.1%）とそれぞれ増額となっております。歳入では、国庫支出金が20,800千円、町債が16,700千円増加し、歳出では公共下水道事業費のうち、工事請負費で35,705千円増加しています。なお、水洗化率は77.3%でした。



7. 農業集落排水事業特別会計

平成24年度の農業集落排水事業特別会計の歳入総額は151,348千円、歳出総額は147,930千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は3,418千円となりました。前年度と比較しますと歳入は47,991千円（46.4%）、歳出は47,798千円（47.7%）とそれぞれ増額となっております。歳入では、国庫支出金が21,500千円、町債が19,300千円増加し、歳出では、農業集落排水事業費のうち、工事請負費で44,939千円増加しています。

